



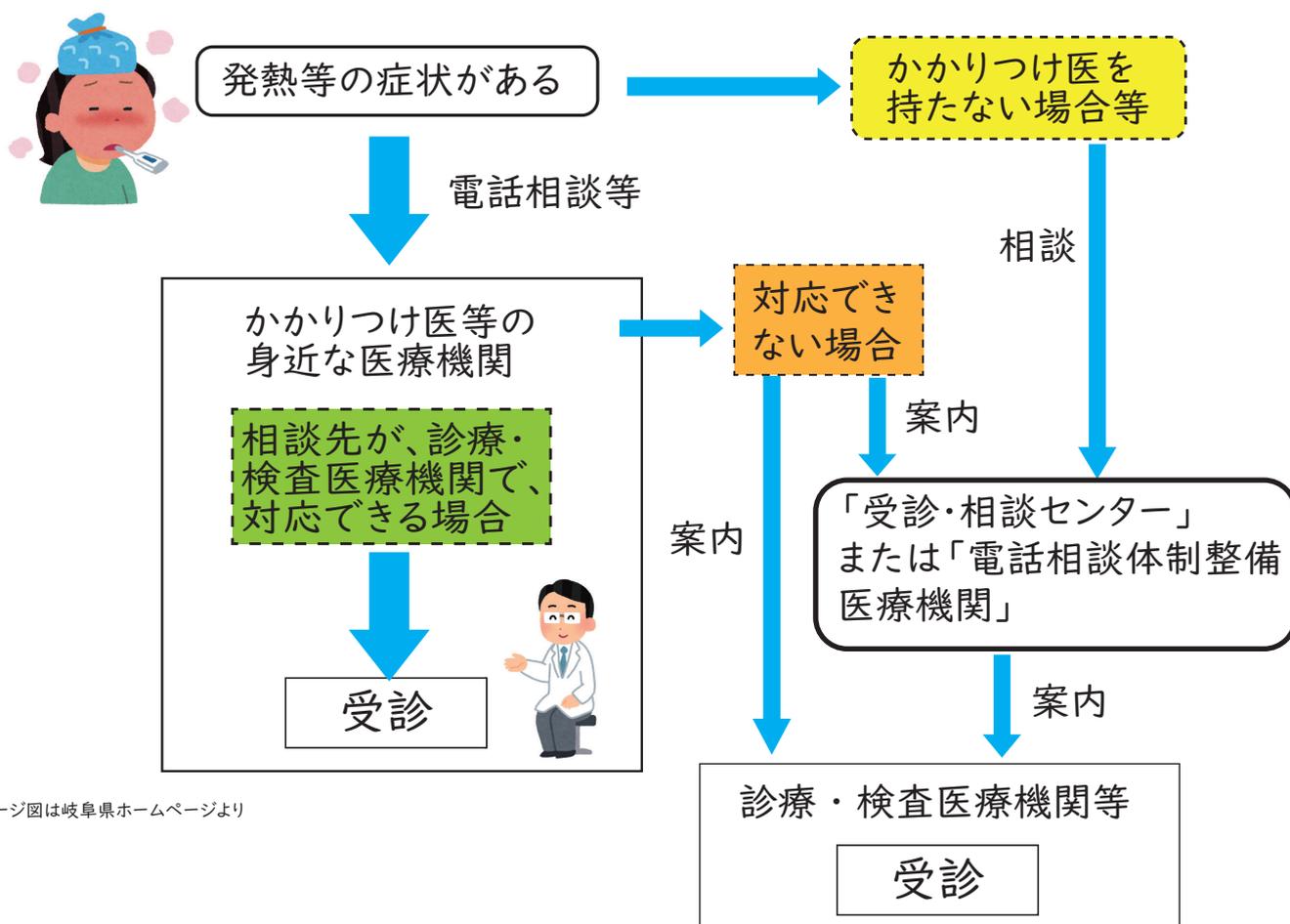
発熱等の症状がある場合の相談・受診方法

令和2年10月14日以降の発熱等の症状がある場合の相談・受診方法について、その方法が岐阜県ホームページに公開されました。発熱等の症状が見られる場合、下記の手順に従い対応して下さい。

- ①外出を避け、まずは、かかりつけ医※1等の身近な医療機関に、電話等で相談してください。
- ②かかりつけ医がない場合等は、保健所に設置されている「受診・相談センター」、または「電話相談体制整備医療機関」に相談してください。
- ③相談先の案内（自院への受診案内、他の医療機関を紹介等）に従って受診してください。

※検査は医師が必要と判断した場合に行われます。

※1 かかりつけ医…身近にいて頼りになる医師のこと



※イメージ図は岐阜県ホームページより

「受診・相談センター」一覧

所管区域	受診・相談センター	電話番号	FAX 番号
羽島市・各務原市・山臈市・瑞穂市・本巣市・羽島郡・本巣郡	岐阜保健所	058-380-3004	058-371-1233
大垣市・海津市・養老郡・不破郡・安八郡・揖斐郡	西濃保健所	0584-73-1111 (内線 273)	0584-74-9334
関市・美濃市・郡上市	関保健所	0575-33-4011 (内線 360)	0575-33-4701
美濃加茂市・可児市・加茂郡・可児郡	可茂保健所	0574-25-3111 (内線 358)	0574-28-7162
多治見市・瑞浪市・土岐市	東濃保健所	0572-23-1111 (内線 361)	0572-25-6657
中津川市・恵那市	恵那保健所	0573-26-1111 (内線 258)	0573-25-1174
高山市・飛騨市・下呂市・大野郡	飛騨保健所	0577-33-1111 (内線 309)	0577-34-8327
岐阜市	岐阜市保健所	058-252-0393	058-252-0639

電話リレーサービス続報

情報センターだより第49号でお伝えした電話リレーサービスの続報になります。第49号では2021年3月末をもって民間団体が実施している“モデルプロジェクトが終了”とお伝えしました。

先日、その後の状況がどうなっているのか確認するために、日本財団電話リレーサービスのホームページを閲覧してみると、「運営主体の変更」と題した動画と案内文が公開されていました。

動画と案内文の要点をまとめると…

- ①電話リレーサービスが安定的・継続的に提供されることを目指し、「一般財団法人日本財団電話リレーサービス」を設立。
- ②令和2年10月1日より運営主体が上記団体に変更された。
- ③法律に基づく電話リレーサービスが始まるまでモデルプロジェクトは継続。
- ④新規利用者登録も継続。



これにより、既存の利用者並びに新規利用者も、継続して電話リレーサービスが利用可能な状況が維持された訳ですが、③にあるように“法律に基づく電話リレーサービスが始まるまで”がいつまでなのか明確な日程は、現時点では明らかになっていません。

ご理解ください



聴覚障害者から電話リレーサービスを利用して電話をかけた場合、先方には必ず「電話リレーサービスです。聞こえない方からの電話を通訳します。」とオペレーターが名乗ります。

まだまだ認知度が低いため、何かの勧誘電話と誤解され、電話を切ってしまう事例があるようです。もし、ご自身(事業所等)にこの様な電話がかかってきた場合、柔軟なご対応をよろしくお願いいたします。

手話通訳者養成講座



4月から始まる予定だった手話通訳者養成講座は、コロナ禍の影響で7月からの開講として始まりました。当初は、会場での人数の制約や、三密回避、ソーシャルディスタンスを保つ、換気、透明マスクの着用など、今までの講座では考えられないような光景に戸惑いがありました。今では、新しい日常として、こうした光景にも慣れてきたところです。

現在、講座は、最終段階へ入り、場面通訳・事例検討・ロールプレイ…とチャレンジしています。

特に、今回の養成講座は、しばらく、仲間同士が顔を合わせることなく、間が空いてしまったので、集団学習の必要性や大切さを一層強く感じ、仲間同士で切磋琢磨しながら頑張っています。

(尚、手話通訳養成講座は16名の方が11/28に修了証を手に入れています。)

聴覚障害者撮影モデル募集

自主制作映像として、手話単語の動画や読み取りチャレンジシリーズをYouTube上に公開していますが、ご覧いただいていますでしょうか。

情報センターでは今後、読み取り教材用及び手話のデジタルアーカイブとして保存することを目的とした、手話映像の撮影に協力していただける聴覚障害者(ろう者)を募集します。

※特に高齢ろう者の方を希望。

昔のろうあ運動などの記憶を語ってみませんか?。撮影場所は情報センター、もしくはお近くの会場(会議室等)を確保していただければ出向いたします。

我こそは!と思われたら、情報センターまでご連絡ください。



※情報センター
YouTubeチャンネル

緊急連絡がスマートフォンからできるように

110番、119番、118番などの緊急連絡がスマホから可能になっています。

110番通報は単独のアプリケーションとして配布されていますが、119番、118番通報のサービスは、Webページを表示させる方式です。どのサービスもチャット形式で連絡をする方法で、利用するには事前登録が必要です。



119番通報は全国的に「Net119」システムの導入が進められ、岐阜県内においては令和2年6月1日現在、90%以上の消防本部が2020年度内に完了を予定しています。

すでに飛騨市、各務原市、羽島市など一部の自治体では、利用者登録が終了し実際に運用が始まっているところもあるようです。

※118は海上での事故等の連絡番号です。

Net119が導入されるとどうなる？

今までは独自のメール119、FAX119などで対応していましたが、自宅や登録した市町村外での事故等には対応できない仕組みでした。

その問題点等を克服したのがNet119システムであり、市外、県外において緊急連絡が必要な場合でも、消防署間で連携ができるシステムであり、どこにいても対応が受けられる訳です。

但し、各消防署間の連携はもうしばらく時間がかかりそうです。

110番アプリ

スマートフォン専用のアプリをダウンロード(Appstore、googleplay) 氏名、電話番号、パスワードを登録することで利用可能。



iOS



Andoroid

Net119

利用者登録が必要な場合があります。管轄する消防署から登録メールが届き、手順に従い情報を登録し利用可能になる。

※登録用メールが迷惑メールとなりメール受信ができないなど、初歩的なトラブルもある。

Net118

岐阜県では海難事故に遭遇することはないですが、旅行先などで事故に巻き込まれた場合、連絡先などを登録しておくが良い。登録は利用当事者が行い、entry@net118.jpへ空メールを送信。

返信される登録用メールの手順に従って登録を完了させておく。

Net119が未導入の地域で、登録説明会が予定されている可能性があります。お住まいの福祉課等にお問合せしてみてください。

聴覚障害者セミナー開催(リモート)

新型コロナウイルス感染症の影響で、一度開催を見送った那須善子氏による聴覚障害者セミナーを11月8日(日)に、リモートで開催することができました。

会場の定員も半分とし、マスク着用、手指消毒など基本的な感染対策を実施し、プロジェクターから映し出される那須氏の映像に見入っている様子が見られました。

情報センター主催でのリモート開催は、今回初だったこともあり、事前に接続テストやリハーサル等を入念に行い、当日は回線トラブル等もなくスムーズに開催できたことにほっとしています。

参加者のアンケートには、「やはり本人を目の前にして話を聞いたかった」という回答もありましたが、現時点ではこの方法も選択肢の一つとして考えなければならないのかもしれないかもしれません。

いずれ、新型コロナウイルスが終息し、以前の様に直接本人に会っていただき、講演していただける時まで、最善策を考えつつ事業の計画を進める必要があります。



那須氏の映像に見入る参加者

生活講座開催（牛乳パックを使った工作!）10月4日（日）



牛乳パックを使った工作のイメージは「簡単そう!」と思うかもしれませんが、今回の工作は思ったより大変だった様です。

まず、最初のステップで牛乳パックの表面（コート紙）を剥がすのですが、パックの材質により剥がしやすかったり、剥がしにくかったり…。しかし、剥がすときのコツを掴んだ人は、準備した材料の表面をあっという間に剥がし終わっていました。

次のステップでは、紙パックに思い思いのデザインを施し、型抜きした裏からセロハン紙を貼って色とりどりのランタンの完成です。（左上画像）

作業中は和気あいあいとして、皆さんの笑顔がとても素敵でした。時間に余裕があれば「万華鏡」も作る計画をしていましたが、残念ながら今回は時間の都合で見送りとなってしまいました。

尚、万華鏡は次回の生活講座で企画しますので、皆さまの参加をお待ちしております。

生活講座開催（ゲームをしながら脳トレしよう!）11月7日（土）



とにかく、楽しみながら脳トレをやっつけてしまおう!ということで、参加された皆さんにあれこれチャレンジしてもらいました。

前半は、同じような文字の中から違う文字を探し出す問題やバラバラになったひらがなを組み合わせ、単語を作り出す問題など。

後半は単語から連想される言葉を、参加者全員から答えてもらいました。途中、手話表現の話題になり、手話教室っぽく

なってしまう面もありましたが、参加者が一様に納得されている表情でした。

さて、ここで皆さんに問題です。次の漢字の中から違う文字を探し出してみてください。



新型コロナウイルス情報ページ

NHKホームページ内に特設サイトとして「新型コロナウイルス」のページが開設されています。新型コロナウイルスに関連するニュースや、感染者数などのデータ（グラフ）、知識など様々な情報が公開されていますので、一度ご覧になってみてください。

スマートフォンは右下のQRコードを読み取ることで、ホームページにつながります。パソコンの場合は、<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>へアクセスしてみてください。全国だけでなく、世界規模の感染情報も知ることができます。



LINE



facebook



ブログ

左のQRコードを利用すると、情報センターのブログ、LINE、Facebookに簡単にアクセスできます。ぜひご利用下さい。

